

議会ガイド



カワニナの放流

第10回ホテルまつり in なかどまり

7月11日(土)、12日(日)の2日間、滝ノ沢砂防愛ランドで開催されました。2日間で約1200名の観覧者が集まり、天候にも恵まれて、たくさんのホテルを見ることができました。

第2回定例会 (平成27年6月)

目次	■ 第2回定例会	P 2
	■ 活動報告	P 3
	■ 一般質問	P 4
	■ 議会の動き	P 8
	■ 委員会だより	P 8

新庁舎建設工事 いよいよスタート

第2回 定例会

6月1日～5日

平成二十七年第二回定例会が、六月一日から五日までの日程で開かれました。四日には一般質問が行われ、川山光則議員、鈴木長一郎議員、荒関富雄議員、山田光春議員の四名が、町側の答弁を求めました。

最終日の五日には、質疑、討論、採決が行われ、条例改正や一般会計補正予算など議案十二件、報告七件、発議一件をいずれも全会一致で可決、同意、承認しました。

補正予算

正予算第一号

職員人事異動及び小泊診療所の医師交代に伴う人件費の減額。

条例関係

■介護保険条例の一部改正

介護保険法の一部改正に伴い、保険料軽減の対象者及び軽減額を定めるもの。

専決処分

■条例等の一部改正する条例の一部改正

地方税法の一部を改正に伴い、条文の整備を要するため専決処分したもの。主な内容は、軽自動車税率引き上げを一年間延長するもの。

■平成二十六年年度一般会計補正予算第十四号

地方譲与税の確定及び地方債の変更により専決処分したもの。

予算総額を六八七〇万円追加するもの。主な補正額(歳出)は次のとおり。

□総務費
財政調整基金積立金
七三三二万円

□土木費
入札減及び工事内容変更に伴う減額
▲五一二万円

■過疎地域における固定資産税の特別措置に関する

補正予算

■一般会計補正予算第二号

主な補正額(歳出)は次のとおり。

□総務費
新庁舎建設事業
一億二九二万円

合併十周年記念公演開催事業
二〇〇万円

□民生費
介護保険事業特別会計繰入金
六二四万円

□土木費
道路新設改良事業
九八〇万円

□消防費
コミュニティ助成事業
二〇〇万円

■国民健康保険特別会計補

正予算第一号

職員人事異動及び小泊診療所の医師交代に伴う人件費の減額。

条例関係

■介護保険条例の一部改正

介護保険法の一部改正に伴い、保険料軽減の対象者及び軽減額を定めるもの。

専決処分

■条例等の一部改正する条例の一部改正

地方税法の一部を改正に伴い、条文の整備を要するため専決処分したもの。主な内容は、軽自動車税率引き上げを一年間延長するもの。

■平成二十六年年度一般会計補正予算第十四号

地方譲与税の確定及び地方債の変更により専決処分したもの。

予算総額を六八七〇万円追加するもの。主な補正額(歳出)は次のとおり。

□総務費
財政調整基金積立金
七三三二万円

□土木費
入札減及び工事内容変更に伴う減額
▲五一二万円

■過疎地域における固定資産税の特別措置に関する

人事案件

■人権擁護委員候補者の推薦

現委員秋田谷徳美氏、宮越優子氏の任期が平成二十七年九月三十日をもって満了となるため、再推薦するもの。

条例の一部を改正する条
例

■半島振興対策実施地域に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例

■承認企業立地計画に従って設置される施設に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例

地方税法の一部改正に伴い、条文の整備を要するため専決処分したもの。主な改正は、固定資産税の特別措置の適用期限及び執行期限を延長するもの。

■税条例等の一部改正

地方税法の一部を改正に伴い、条文の整備を要するため専決処分したもの。
主な内容は、マイナンバー制度の番号法改正に伴う措置や軽自動車税のグリーン化特例の新設など。

■平成二十七年
度一般会計
補正予算第一号

青森県知事選挙費に四八万円及び一般廃棄物最終処分場ストックヤードシヤッターが強風により破損した取替工事費に二一六万円を計上。

その他

■負担付き寄附の受け入れについて

升田忠則氏から土地を道路敷地として負担付きの寄附の申し出があり、これを受け入れるもの。

■青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村総合事務組合規約の変更について

■青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村職員退職手当組合規約の変更について

三戸地区塵芥処理事務組合が平成二十七年八月三十一日で解散に伴い、共同処

理する事務等の規約の変更。

発議

■町長が専決処分することのできる事項の指定について

地方自治法第一八〇条第一項の規定により、町が当事者で和解・調停・損害賠償などで上限額を定め、それ以下の事実。各団体の軽微な規約等の変更、議会の議決を経た契約で、変更契約がある場合、上限の率及び限度額を定め、それ以下の契約を専決処分できる事項として指定する。

第一回
議員全員協議会

6月1日(月)

〈案件〉

- ・町長が専決処分することのできる事項の指定について
- ・プレミアム商品券について
- ・新庁舎について



協議会の様子

県下町村議会議員研修会

7月9日(木)、青森市民ホールにおいて、県下町村議会議員研修会が開催され、当町議員団も参加しました。

青森県知事の三村伸吾氏を講師に招いた講演会では、「平成28年度重点施策提案について」と題して、各施策や事業についてユーモアのある楽しい講演会が行われました。



一般質問

・漁業の不漁対策について ・魚の加工対策について



川山光則議員

Q

小泊、下前地区の不漁
また燃料や資材等の高騰
により、漁業者は厳しい
経営が続いている。
国や県で経済対策がな
ければ、頼るのは町とい
うことになるが、何かよ
い考えはないか。

A

■小野町長
漁業収入・漁業コスト
削減の取り組みの救済対



帰港する漁船

■小野町長
今まで旧小泊村
の頃から各種事業
に取り組み、アワ
ビ種苗供給センタ
ー、活魚備蓄施設、
水産物加工処理施
設などを整備して
きたが、現在使用
されておらず、平
成二十一年度に整
備した海水ろ過殺

A

小泊地域では、昔から
各種加工作りを行って
いるが、良質な物が捕れる
のは限られた期間しか
なく、加工作りの方々から
冷凍冷蔵庫を必要とする
声が多くあり、何か対応
できないものか。

Q

策として昨年町が作成し
た「浜の活力再生プラ
ン」により、両漁協が省
燃油活動推進事業を実施
した。
今年度から水産資源保
全事業として、両漁協に
地先資源の回復を目的と
してアワビの稚貝、ウス
メバルの稚魚の購入費と
して3年間補助する予定
である。また、県による
藻場の造成事業が本格的
にスタートし、今後は救
済対策として雇用の創出、
付加価値型の水産業の推
進、販路拡大の研究、6
次産業の取り組み強化な
ど、漁業振興対策に取り
組んでいく。



海産物加工品

菌冷却装置については、
効果が得られている。
このことから、冷凍冷
蔵庫の必要性については
両漁協はもちろん、地域
の皆さんと十分協議をし
ながら活力ある地域産業
の発展を最重要課題とし
て検討していく。

一般質問はインターネット・ライブ中継がご覧になれます。

パルナス・小泊支所・すくすくしたまえ館のロビーにも
テレビ中継されています。ぜひご利用ください。

HPアドレス <http://www.town.nakadomari.lg.jp/index.cfm>



・旧若宮小学校プール跡の管理について ・町道二号線と県道富范薄市線の交差点について



旧若宮小学校プール



鈴木長一郎議員

Q 旧若宮小学校のプールは、前まで防火水槽として利用していたが、現在



は使用していないと思われる。水が入っており危険な状態のため、町の管理方法や今後その土地をどうするのか。



■横野財政課長

早急に立ち入り禁止看板の設置や子供たちがプールに入れないような安全対策を講じ、秋以降、十三湖土地改良区と排水の関係で協議しプールの水抜き作業も行いたいと考えている。また、定期的に職員が巡回し、草刈り等も行い管理していく。プールの処分等についても今後検討していきたい。



町道2号線の若宮集落から県道富范薄市線の交差点に、町道両側が斜面になっ



■佐藤環境整備課長

この交差点は、見通しが悪いため交通事故も過去に何度か発生している。



町道2号線交差点

見通しをよくするために、道路改良や支障となつている水路にも対策を講じなければならぬと思つている。構造的なものについては関係土地改良区との関連もありブロックのような構造物については、もし撤去可能なものであれば早急に対処したいので、確認して検討する。

安全対策として警戒標識の設置や警告灯の設置またはカーブミラーの設置場所の変更など、交通安全担当係とも相談して対応したい。

傍聴席は、あなたの席です！！

中泊町議会 平成27年 第3回定例会は、9月上旬です。会議は公開されており、どなたでも議会の傍聴ができます。

平成27年第2回定例会の傍聴者は、2名でした。皆さんの傍聴をお待ちしております。

一度、町議会へ足を運んで、自分の目でご覧下さい

- ・ 防災対策について(新庁舎建設予定地周辺の排水対策案及び国・県・町の管理体制の確認、街灯のブルーライトへの普及率)
- ・ 観光対策について(奥津軽いまべつ駅開業前に当町の観光対策は)



荒関富雄議員

Q 昨年の8月の水害はかつてないほどの水害であり、県により宮野沢川の堤防のかさ上げは災害が起きた場所だけやっているが、それだけでいいのか。

また、河床をもっと下げられるように県は考えているのか。町で近々ポンプを付けて宮野沢川に排水するということだが、その場所はどこなのか。それと国・県・土地改良区の管理体制はどのようになっているのか。

また、防犯対策の観点から、一時街灯のブルー

ライト化が進んでいたが、その後なぜ普及しないのか。

A 小野町長 宮野沢川の河床の掘削とかさ上げは本年度県で実施すると聞いている。排水ポンプについては当初、紅葉坂に建設した団地の東側に計画していたが、あの大規模な水害があり再度国・県及び土地改良区等と協議し、宮野沢川全体を調査して計画に入る予定である。

A 飯塚総務課長 ブルーライト街灯は、雨天や霧の中では極度に視認性が低く、防犯カメラ等に対してもカメラの効果も損なわれたり、交通事故の発生を助長する危険性もあると言われ、今後は全てLED街灯となる見通しである。

Q

奥津軽いまべつ駅開業を前に当町では十三湖岸の吉田松陰記念碑などを利用し、歴史と文化を組合せた観光対策や取り組みを行うべきと思うが、当局の考えは。

A 小野町長 昨年の九月から新・おもてなし・ご当地グルメ開発事業を行っており、中里地域の米と小泊地域のメバルをメインとした中泊町に來なければ食べられない料理の開発、地元各団体等との協力により、農業・漁業体験や食を通じた観光振興を全国的にどのように発信するか考えている。

また、奥津軽いまべつ駅から津軽中里駅へ行く二次交通について、現在青森県では弘南バスと協議中との報告を受けてお

り、津軽地域においてくださる足として重要なことなので、その実現に向け積極的に取り組んでいく。

所から見ると十三湖や岩木山は素晴らしい景色である。歴史的にも、源氏山の碑や吉田松陰記念碑などを資源としてPRできる場所だと思っているので、観光地として発信していきたい。

A

秋元副町長 十三湖岸の観光で、今泉賽の河原例大祭が毎年行われているが、その場



中泊メバル膳

・防災施設の整備について(防災倉庫・津波避難タワー) ・小泊中学校の建設計画は

A ■飯塚総務課長
町が災害用品の備蓄をしている施設は、中里地域は旧内潟出張所、田茂木防災センター、小泊地域は折戸避難所、稲荷山避難所の計四カ所となっている。
備蓄内容は、被災者用の保存食・飲料水等の長

Q
当町に防災倉庫等があるものか。また、小泊地域には津波避難タワーの建設計画があるものか。



山田光春議員

期保存が可能なもの、生活必需品では毛布やトイレットペーパー・紙おむつ・マスクなど。発電機や照明灯なども置いています。また、町内小売業者と確保、供給に関する協定を結んでおり、食料等の安定確保に努める。
津波避難タワーについては、津波避難計画を県の想定に基づき策定済みで、各地区とも高台までの避難時間が十分間に合うことから、避難タワー

については計画していない。その後、昨年の八月に発表された国の津波想定が当初の計画よりも高い津波高となつていことから、国の想定に基づいてこれから避難経路等の計画の見直し作業を進めることになり、設置が必要な地区があれば検討する。

Q
児童生徒数の減少に伴い、今後の小泊中学校の建設について、どのように計画を進めるものか。



稲荷山避難所

A ■小野町長
小泊中学校は、昭和四十五年に建築され、老朽化が進み平成二十年に耐震診断を実施した結果、耐震性に疑問があるとの調査結果になった。

この調査結果や生徒数の減少が年々進んでいくことから、教育委員会では地域の小学校、保育所の保護者等を対象としたアンケート調査や地域の方々を対象とした懇談会の開催など地区住民の意向を把握しながら、将来の方向性について町や町議会とも協議しながら検討してきたところである。

昨年の二月の教育委員会定例会で、危険校舎として全面改築する整備計画案が承認されており、三月議会終了後に議会への報告がされている。計画の予定としては、平成二十九年と三十年の建設としていたが、小泊小学校も老朽化が進んでおり、また、津波などの防災面でも将来的に中学校の敷地への移転等も考えていかなければならない。このことから小泊小学



小泊中学校

校との関連を含めて、中学校の建設については、今後設置される総合教育会議において、教育委員会と町の教育全体の基本的な方針について協議を進めていく。
それに伴い本年度策定される町の総合計画の実施計画にも反映させるべく、町議会と協議しながら建設計画を進めたいと考えている。

4月

16日 老人クラブ連合会小泊支部総会
 21日 民生児童委員協議会総会
 24日 老人クラブ連合会総会
 29日 金木桜まつり開会式

5月

4日 中泊町消防団定期観閲式
 14日 建設業協会定時総会
 21日 商工会通常総代会
 22日 十三湖二期地区土地改良事業促進協議会総会
 小泊観光協会通常総会
 25日 議会運営委員会
 26日 シルバー人材センター定時総会
 全国町村議会議長研修会
 27日 全国町村議会議長研修会
 30日 深浦町・岩崎村合併十周年記念式典

6月

1日 第二回定例会開会日
 4日 定例会一般質問
 5日 単行案審議・採決・閉会
 12日 西北身体障害者福祉連合会定期総会
 17日 もったいない町民運動推進会議
 19日 青森県町村議会議長会臨時総会
 24日 十三湖二期地区土地改良事業要請活動
 25日 十三湖二期地区土地改良事業要請活動
 30日 北津軽郡社会福祉協議会総会

議会運営委員会

(長利 司 委員長) 5月25日(月)

〈案 件〉

- 平成27年第2回中泊町議会定例会会期日程について
- 提出議案について
- 新規に受理した陳情等の取り扱いについて
- その他



議会運営委員会

議会運営委員会

(長利 司 委員長) 6月1日(月)

〈案 件〉

- 新規に受理した陳情等の取り扱いについて
- その他